

東京ゴルフ倶楽部 コンペ開催レポート

開催日: 12月8日(金)

コース: 東京ゴルフ倶楽部

天気: 晴れのち曇り

こんにちは、ハッピーゴルフ・プレミアム倶楽部の伊藤です。

本日は、12月8日(金)に開催された東京ゴルフ倶楽部でのハッピーゴルフコンペの開催レポートをお送りいたします。

ぜひお読み頂けたら嬉しいです。

日本のゴルフ史とともに歩んできた超名門コース 「東京ゴルフ倶楽部」

さて、今回コンペが開催された「東京ゴルフ倶楽部」は、
「川奈ホテル大島コース」や「名古屋和合コース」という日本のゴルフ界の
草分け的なコースを手掛けた設計家 大西 光明（おおにし みつあき）氏によって
造られたコースです。大西氏は日本ゴルフ協会(JGA)の創立に尽力し日本のゴルフルールの
普及に努めたことから日本のゴルフの父とも言われています。

開場は、1940年(昭和15年)。グリーンは1940年代に井上 誠一氏によって
“知々夫”グリーンを追加し、冬でも枯れないグリーンを楽しめる2グリーン制の先駆けとなりました。
2009年、2グリーンのうち片方のグリーンの大幅改造を行い、米国人設計家、ギル・ハンス氏の設計で
2010年10月にプレーを再開しました。ギル・ハンス氏は2016年リオのオリンピックでゴルフ競技の
コース設計を担当したことで有名です。

18ホールの林間コース。自然に流れるゆるやかな起伏は、そのまま高度な戦略性が要素されます。
加えて深いバンカー・砲台グリーンなど、ごまかしのショットは一切通用しないコースと言われています。
過去には日本オープンの開催回数が7回を数えることからプレーヤーの裁量を試されるコースなのですね。

クラブハウスは創立50周年を記念して一度改装工事がなされていますが

キャディさんの話ではコース側から見た外壁の基礎やレストラン全体は戦前のままとの事なので思わず写真に収めて来ました。
写真では伝わりにくいですが実際に見ると歴史の足跡を感じずにはいられませんでした。



東京ゴルフ倶楽部 クラブハウス内



クラブハウス外観

なんとレストランの手前には東京ゴルフ倶楽部の歴史室がありまして…
中には入って創設当時の歴史資料や写真、当時使用していた道具などを見ながら日本のゴルフの創成期を垣間見ることが出来ました。



資料館



当時のゴルフクラブ

それでは、ここからは当日の様子についてご報告いたします！

予報を裏切り絶好のゴルフ日和…

予報の降水確率60% とはいつのお天気のこと？
というほどの 心地よい日差しの中、
ご参加頂いた皆さんで朝のご挨拶をしました！

東京ゴルフ倶楽部をプレーすることが初めての方は
どれ位いらっしゃるかをお聞きしたところ
殆どの方が初めてとの事でした。

ハッピーゴルフのコンペは
お一人でご参加される方がほとんどですが、
今回はお一人で参加、なおかつ初参加の方が8名もいらっしゃいましたよ。



東京ゴルフ倶楽部 コンペ 集合写真

そして、記念写真を撮った後、組ごとにお話し聞いてみました。

「この何とも言えない静けさに歴史を感じるね。」

「いつかは回ってみたかったコースのひとつ、ゴルフ人生の記念日です。」

「大きな暖炉を囲んでの談話室がまた名門って感じ。」

「今回は初参加です、やっと参加出来ました！」

など、皆さん大満足の笑顔でスタートされていきました。

9ホールを終えてクラブハウスにて昼食タイム

さて、午前のハーフラウンドが終わり
皆さんから聞こえてくるお声はというと・・・

「バンカーの数が凄いね！やられた～」
「グリーンは難しいけれどそれが楽しいです！」
「レディースの距離が長い～」

それもそのはず、レギュラー・ティーはPAR 72ですが
レディース・ティーからはPAR 75なのだそうです。

女性にも厳しいコースでした。

お昼ご飯を食べた後は、
そしてそれぞれの思いを胸に後半がスタートです。



オリンピックと同じグリーン

キャディマスターに聞いてみると今回使用している“朝霞”グリーンの芝の種類は2016年に開催されたリオ・オリンピックの開催コースのグリーンと同じ芝の「007」(ゼロゼロ7)を使用しているとの事です。
先にも紹介しましたリオ・オリンピックの開催コースを担当したギル・ハンス氏が“朝霞”グリーンの芝の改造を行っているので最新の高速グリーンを先取りしていたという事になりますね。

どのホールのグリーンもアンジュレーションを巧みに配置しているので難しくもあり楽しくもありのグリーンだそうです。そして忘れてはいけないのはバンカーの数です。その代表的なホールと言えば14番ホールです。



14番ホール 333ヤードパー4

ひとたびセカンド・ショットがグリーンに届かない
ような事態を招いてしまうとグリーン手前には
折り重なるようにバンカーが待ち構えています。

2018年5月から9月まではコースをクローズし、ハンズ氏によるもう一つの“知々夫”グリーンの
改造、距離も伸ばし更にバンカーの数を増やすそうですよ。
一体どのような凄いコースに仕上がるのでしょうか。

日本オープン開催7回の歴史あるコースが、
自然を生かしたコースの伝統を受け継ぎ、
更に新時代の草分けとして進化をし続ける。

そんな東京ゴルフ倶楽部の雰囲気を楽しみに
次回はあなたも是非参加してみてください！

少し肌寒い天候になりましたが後半のプレーも終了し
最後は表彰パーティーです。

今回は総勢25名ご参加のハッピーゴルフ・コンペとなりました。



そして、優勝は伊藤さん、おめでとうございます！

伊藤さんはご主人とお二人で北海道からお越しくださり、ご主人も第3位でした。

この組は準優勝、10位と4名全員が賞品を手になされて大喜びです。

今回は三元豚しゃぶしゃぶギフトを優勝賞品として贈呈させて頂きました。

ご参加の皆様の声として

最後に表彰パーティーの際に皆様にお書き頂いたアンケートからご感想を幾つか紹介します。

「女性に厳しいコースでした・・・。

この冬の時期では考えられないほどきれいなコースで驚きでした。満足です！」

「初めてハッピーゴルフコンペに参加しました！

この時期にしては天気も良く、コースもきれいで気持ちよくプレーが出来ました。」

「最高のコースで、不満はなにもありません！

今後も一流コースでのコンペ企画をお待ちしています！！」

「アリソン・バンカーに案の定、苦戦しました・・・。

しかし再度練習をして挑戦したいですね。」

今回の開催レポートも最後までお読み頂き、ありがとうございました。

ハッピーゴルフでは、今後も月に2～3回程、

名門ゴルフ場でコンペを開催していきます！

気になるゴルフ場を見つけてご参加ください。

また、皆さまとお会いできる日を楽しみにしております。



ハッピーゴルフ・プレミアム倶楽部
サポート事務局 伊藤真生